

時代が遷り変わっても

感謝の祈りは永遠に

八月十五日は

兵庫縣姫路護國神社へ



平成30年 8月15日 (水)

🌸 英霊感謝祭

本殿にて午前10時より

(どなたでも参列出来ます)

※正午には自衛隊のラッパ奉納があります

🌸 英霊顕彰の集い

特集「語られない沖縄戦」

午前11時～午後5時頃

参集殿2階 (入場無料、入退場自由)

兵庫縣姫路護國神社 兵庫縣姫路市本町118 電話079-224-0896

ホームページ <http://www.himeji-gokoku.jp> メール:himejigokoku@gmail.com







# 英霊顕彰の集い

## 特集

### 「語られない沖縄戦」

大東亜戦争時、日本国内で地上戦があったのは硫黄島と沖縄の2箇所です。硫黄島は住民が避難していましたが、沖縄は多くの住民が残ったままでの戦闘となりました。本土決戦の先駆けとなったのです。沖縄戦は昭和20年3月26日から6月23日までの約3ヶ月続きます。米軍は当初1週間で沖縄を陥落させる予定でしたが、迫り来る敵をなんとか食い止めようと、懸命に戦った日本軍と沖縄県民に行く手を阻まれ苦戦します。一般に語られている沖縄戦とは少し違った視点から二つの物語で紹介します。一つは神戸市出身で沖縄県知事を務めた島田叡氏の活躍。もう一つは、占領された飛行場に突撃した特殊部隊の義烈空挺隊です。

#### 島田叡（しまだあきら）沖縄県知事

神戸市須磨村出身の戦前最後の沖縄県知事。米軍上陸2ヶ月前に赴任し過酷な戦時体制下で県民保護の困難な仕事に命がけで取り組み、昭和20年6月摩文仁の丘で消息を絶つ。兵庫県と沖縄県は島田知事の功績で今なお固い絆で結ばれている。

#### 義烈空挺隊（ぎれつこうていたい）

米軍に制圧された沖縄の飛行場を奪還するために編成された奥山道郎以下120名の特殊作戦部隊。昭和20年5月24日12機の重爆撃機で熊本県を飛び立ち、米軍に占拠された飛行場に強行着陸し、敵基地の破壊、攪乱を行った。



その他にも

こども紙芝居「お父さんの千羽鶴」、「英霊の言乃葉」朗読など  
「日本を唱う」では沖縄民謡グループが登場します。



主催：兵庫県姫路護國神社崇敬奉賛会

姫路護國神社ご創祀125年・ご鎮座80年記念事業御奉賛のお願い 詳しくは神社まで

11月2日 ご創祀125年ご鎮座80年祭（秋季大祭）

11月3日 明治維新150年祭